

受付番号	8	受付月日	令和7年8月18日 午前12時30分
------	---	------	-----------------------

東郷町議会議長

水川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

日本共産党東郷町議員団

議席番号

15番氏名

門原武志

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 女性のトイレの待ち時間をどう考えるか	<p>(1) 公共施設のトイレの男女比について</p> <p>ア 「オープンデータ TOGO」の「観光情報」の「町内の公園にある公衆トイレの一覧」（2024年3月29日更新）には、25公園にトイレがあり男性用総数56（小便器30、和式11、洋式14）、女性用総数28（和式15洋式13）、男女共用1（洋式1）と示されている。役場、町民会館、総合体育館、いこまい館、児童館、保育園、老人憩の家、東郷診療所、学校、町体育施設、給食センターのトイレの現状を同様に示されたい。</p> <p>イ 事務所衛生基準規則では同時に働く従業員数に応じ、男性用小便器は60人に1、男性用大便器は30人に1、女性用便器は20人に1と定めているが、この基準に照らし、本町の現状をどう考えるか伺う。</p> <p>ウ 山口県萩市は「公共施設のトイレにかかる整備方針」で施設を新たに整備する場合、男性小便器数と女性便器数の比をおおむね1：2を目安とするとしている。本町の方針はどのようなか伺う。</p> <p>(2) 行事で設置する仮設トイレについて</p> <p>ア 男性用と女性用の設置数はどのようなか。</p> <p>イ 町としての考え方を伺う。</p> <p>(3) 災害時の避難所のトイレについて</p> <p>ア スフィア基準では避難所の個室トイレの男女比をおおむね1：3となるように計画することとされているが、本町の考えはどのようなか伺う。</p>	町長 教育長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2 物価高から住民を守る町政を	<p>(1) 水道料金の減免について</p> <p>ア 令和2年度のみよし市、今年度の東京都や丹羽広域事務組合など水道料金減免の事例を把握しているか伺う。</p> <p>イ 水道料金を減免する方法として町単独で実施する方法と、愛知中部水道企業団で実施する方法があると考えられるが、どのような方法をとるにせよ、物価高から住民や事業者を守るための手段として水道料金の減免を実施することについての考えを伺う。</p> <p>(2) 町が考える物価高対策について</p> <p>ア 先の参議院選挙で各政党が給付による方法や消費税減税など物価高対策を提案したが、与党が衆参両院で過半数割れになり、国の方針が見えにくい。このような状況で町独自の物価高対策が必要だと考えられる。今年度、みよし市は SNS の公式アカウント登録者向けに、市民であるか否かを問わず、市内の店舗で使えるクーポンを発行した。東郷町は過去にエールチケットを辞退者以外に配布した。町として物価高から住民と事業者を守るための方策をどう考えるのか伺う。</p>	町長 担当部長
3 カーボンニュートラルと水源保全について	<p>(1) カーボンニュートラルについて</p> <p>ア 第3次環境基本計画では、2050年までのカーボンニュートラル達成を政府が宣言したことに触れ「本町においても、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化に関する取組を推進していくことが求められます」としている。森林は、温室効果ガスの吸収作用を持ち、特に愛知用水上流域の森林の保全は、本町を含むこの地域にとって重要な課題である。本町が実施する王滝村の分収造林管理事業の意義について説明されたい。</p> <p>イ 森林保全では担い手不足が課題であるが、分収造林管理事業においてはどうか。</p> <p>ウ 王滝村宿泊費助成事業の意義について説明されたい。</p> <p>エ 地域での仕事おこしなど上流域に町として協力できることについての見解は。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>(2) カーボンニュートラルを目指し温室効果ガスの排出を減らす中で、どうしても排出が避けられない温室効果ガスを、排出量に見合った温室ガス削減活動に投資し、埋め合わせることをカーボンオフセットという。そのための手法としてJ-クレジット制度がある。環境省は「環境省、経済産業省、農林水産省が運営するベースライン&クレジット制度であり、省エネ・再エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をJ-クレジットとして認証しています」と説明している。このことについて質問する。</p> <p>ア カーボンオフセットについて町の見解を示されたい。</p> <p>イ J-クレジットは企業や自治体がい取りることができる。大府市は王滝村と木曾町からい取りるとともに、市内の企業に制度を紹介し、王滝村と木曾町からの買取を進めている。地域ぐるみの取組として参考になるのではないか。見解を伺う。</p>	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。